

所属・資格 国文学科・教授

申請者氏名 阿部 好臣

研究課題		『源氏物語』宇治十帖の研究—薫と仏教
報告の概要	研究目的 および 研究概要	『源氏物語』の最終局面である浮舟の物語を、彼女を支える一つの柱である薫の側面から考察しようとしたのである。その際に注目したのは、彼にまつわる仏教的側面である。阿闍世王説話との関連が造形の根底に関わるとの指摘があるものの、それが具体的に作品形成にどう関わったか不明である。その解明のために『法華経』に注目し、悉皆成仏こそ、その根幹であるとの視座から関連を読もうとした。
	研究の結果	『法華経』の中でも注目されたのは、竜女往生を説く提婆達多品であるが、これを竜女ではなく、前半の阿闍世説話と関連にずらし、さらに、薬王菩薩本地品などをも巻き込んで、薫と宇治の八宮との相互連環の読みから、薫の焼身往生の可能性を導き出した。論証の甘さはぬぐえないものの、今後の源氏研究に大きな一石を投げ得たとの感触は掴み得た。
	研究の考察・反省	『源氏物語』と仏教に関する先行の研究は列挙に暇ないが、作品そのもの、或いは平安時代の心性に食い込む考察は皆無だったと自認する。その先に何が見えるか。文学と宗教といったような狭隘なものではない、来るべき世界にむけて一筋の光が見えたのである。
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所	研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所	※この欄は、本報告書提出時点で判明している事項についてご記入ください。 「平安才女と歳の差婚」『古典文学の常識を疑うⅡ』勉誠出版、2019・9 「宇治 薫と仏教—〈果て〉を求めての覚書（第一稿）」源氏物語を読む会編『源氏物語〈読み〉の交響Ⅲ』新典社、2020・3
研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者	研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者	